

国語学習における 書く力を伸ばす指導のあり方

直江津東中学校チーム

栗田 和恵 (M1)

井上 功太郎 (M2)

豊本 英嗣 (M2)

松本 修 (アドバイザー)

直江津東中学校の研究概要

平成22・23年度新潟県中学校教育研究会
国語研究の指定校

研究主題

「理由を明確にして書く力を伸ばす指導の工夫」

支援の方向性

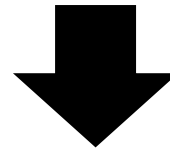
- ①資料提供（単元づくり、具体的な指導内容に関わる資料の提供）
 - ②指導案検討（単元づくりや具体的な指導についての提案）
 - ③授業参加（学習において、授業者の補助的な役割での参加）
- ※週1回の国語部会に参加し、国語の教科に特化した支援

研究の目的

『中学校学習指導要領』
「書くこと」の領域に「交流に関する指導事項」

第2学年

オ 書いた文章を読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べ合ったり、助言したりして、自分の考えを広げること



コミュニケーション(相互作用)の重視

言語活動のつくり方

松本修(2010)

探究的な活動を設定する中で、様々な知識・
技能を活用するようないかなる言語活動を組織
し、その活動が実の場を形成するようなもの
に配慮する

Ⅱ コミュニカティブな活動としての書くこと

活用を図る言語活動

佐藤多佳子(2010)

探究的な活動には、学習者の目的意識をつなぐ、または学習者がゴールを意識してそこに向かう学習活動のプロセスがある。それを「活動レベル」のプロセスとしよう。すると、そこには、必ずそれとリンクするはずの「言語能力レベル」のプロセスがある。「活動レベル」のプロセスは、学習者が仲間や授業者と共に目的に向かって紡いでいくものである。一方、「言語能力レベル」のプロセスは、身に付けるべき力を明らかにしながら、その両者が一体をなってはじめて、言葉の力を活用する学習が成立する。

Ⅱ コミュニカティブな活動としての書くこと

単元のゴールの設定

探究的な課題(実の場)の設定

「修学旅行の3日目のクラス別研修の行き先を決めるために、クラスの仲間に向け、相手を説得するための主張文を書こう」

※中学校の一大イベントである修学旅行を題材に、学習者に応じた内容をつくる。

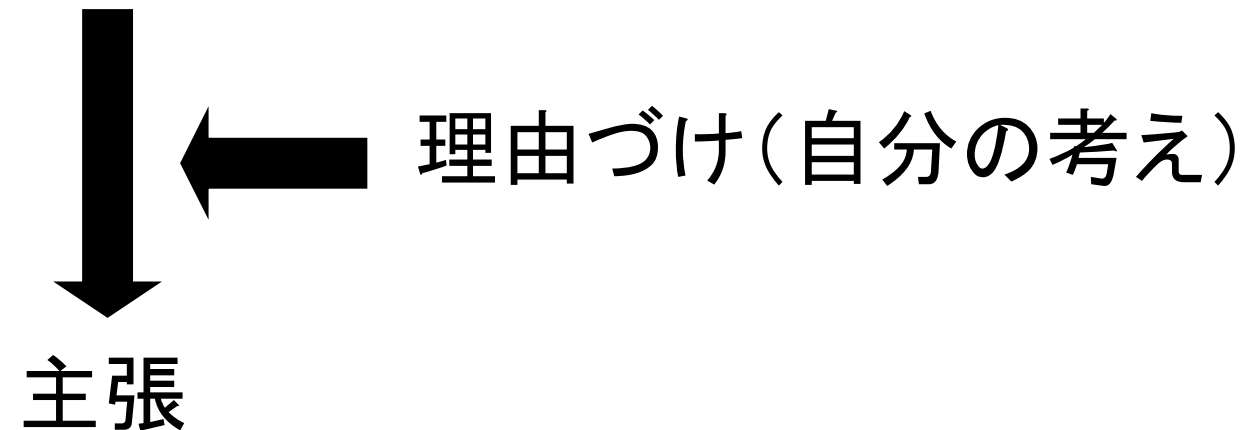
※総合的な学習の時間との関連を図る。

Ⅱ コミュニカティブな活動としての書くこと

主張文を書くために活用、習得する知識・技能

井上尚美(1989)

根拠(事実や体験)



Ⅲ 授業プラン

【單元名】 「事實」と「意見」

単元の構想

〈活動レベル〉：学習者の意識	〈言語能力レベル〉
目標 クラスのみんなにクラス別研修の行き先を主張しよう	目標 理由を明確にした主張文を書く
練習をしよう 練習ミニ单元① 手紙がいいか、メールがいいか 理由リストを「根拠」と「理由づけ」に分類しよう 練習ミニ单元② 学校の昼食は弁当がいいか、給食がいいか 「主張」と「根拠」「理由づけ」を使って主張文を書こう 練習ミニ单元③ 文章を比べよう 文章を比べて、どちらの文章が説得力があるか、考えよう	・「根拠」「理由づけ」の定義 (帰納的整理) ・主張文の構成 (主張・根拠・理由づけ) ・主張・根拠・理由づけの有機的なつながり

Ⅲ 授業プラン

1 次 行き先を決めよう ・ 行きたい場所を考えよう ・ 情報を集めよう	・ 情報の取り出し
2 次 構成メモを書こう ・ 根拠・理由づけを考えよう	・ 情報の整理、分類 ・ 理由づけのレベル（個人的→一般的→独自の）
3 次 グループ交流 ・ 構成メモをもとに、アドバイスしよう	・ 疑問点を明らかにする ・ 意見を述べる ・ 他者の意見について反論する ・ 情報を整理する
4 次 主張文を書く ・ 主張文を書こう ・ 相互評価をしよう	・ 説得力のある文章を書く ・ 相手の良いところを根拠をあげて述べる

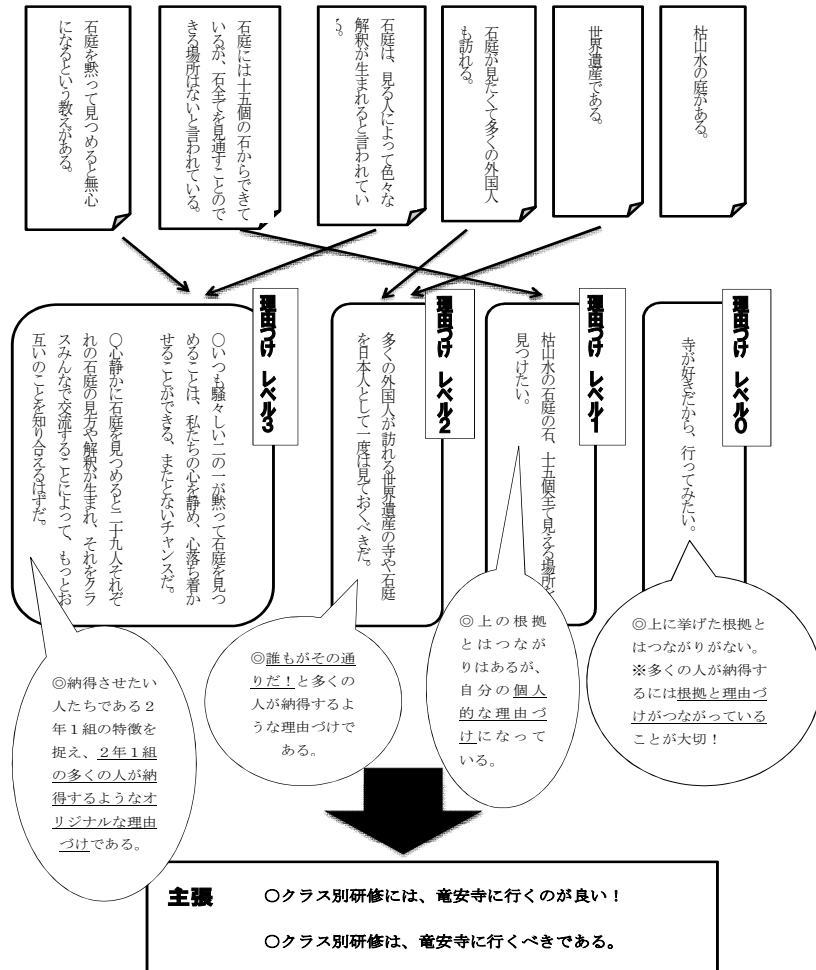
Ⅲ 授業プラン

第2次

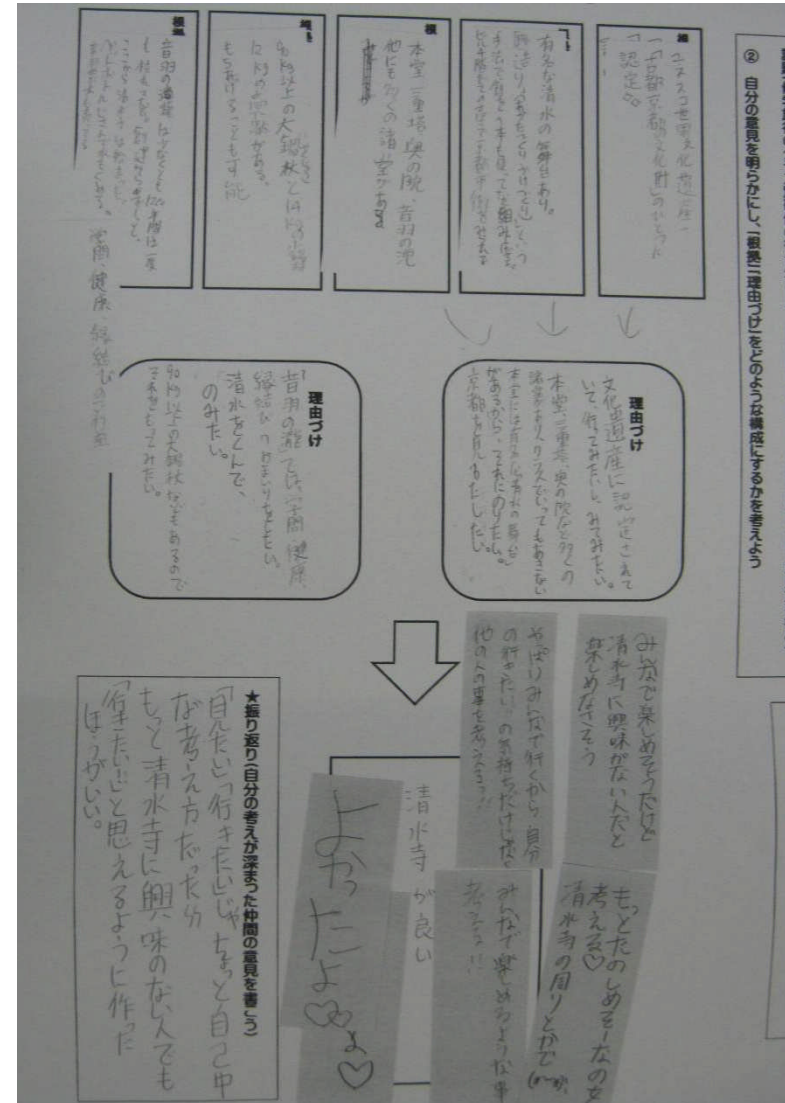
■理由づけのレベルシート

個人的→一般的→独自の

クラスの皆が納得する、良い理由づけを考えよう！



■生徒のワークシート



Ⅲ 授業プラン

第3次(11月18日)の展開

	学 習 活 動	教師の支援・留意点
導入	・前時の学習内容の確認	・相手を説得するには、主張・根拠・理由づけの三つのつながりが大切であることを伝える。
展開	・本時の学習内容の確認 「調べたことから、行き先別のグループ内で、構成表を基に根拠と理由づけを述べ合い、意見交換しよう。」	話し合いの観点 ・分からない言葉があったら質問する。 ・根拠と理由づけのつながりが適切であるかどうか考える。 ・理由づけのレベルについて検討し、より良い理由づけにするにはどうすればよいか、アドバイスをする。
まとめ	・仲間との交流で自分が参考になった意見などを振り返りシートに書く。	

グループでの話し合いの分析

①MM(女子)、YK(女子)、ME(女子)のグループ

→全員が清水寺

②AT(男子)、WA(男子)、RY(男子)のグループ

→ATのみ新薬師寺、WA、RYは、東大寺

グループでの会話をトランスクリプトしたものを質的三層分析によって分析する。

松本(2004)

質的三層分析

「形式的特徴」「発話の機能」「意味内容」

MM、YK、MEグループ

形式的特徴

- 60YK あのださ::ぶしつけなこと言っいいい？
61MM うんいいよ。それを言うために、これやってるんだから＝
62YK ＝ごめんね＝
63MM ＝うん＝
64ME ＝ちょっとなんかこわい＝
65YK ＝なんか::ぶしつけなこと言っちゃうと＝
66MM ＝うん＝
67ME ＝ぶしつけ。こわい((笑い))
68YK えっなに((笑い))言っちゃうと::／／ちょっとね＝
69ME ／／もうやだ::((笑い))
70MM ＝言いにくいよね。この場所((笑い))なんか／／ね。何かね＝
71YK ／／ちょっと言いにくいよね。わかる((笑い))
72ME わ／／かる::
73YK ／／言っちゃう言っちゃう。だから、言っちゃう、言っちゃうとね＝
74MM ＝うん＝
75YK 行きたいとか見てみたいとかだと::なんか、全員(.)その興味なかったら、どうでもいいって
感じじゃん＝
76MM ＝まあ。まあ。それわかる＝
77ME ＝わかるわかる＝
78YK ＝だから::これがう::ん、みたいなの。
79MM じゃあ何だろう？ 理由が、浅い？ みたいなの。

MM、YK、MEグループ

発話の機能

- 60YK あのださ::ぶしつけなこと言っていー？
61MM うんいいよ。それを言うために、これやってるんだから＝
62YK ＝ごめんね＝
63MM ＝うん＝
64ME ＝ちょっとなんかこわい＝
65YK ＝なんか::ぶしつけなこと言っちゃうと＝
66MM ＝うん＝
67ME ＝ぶしつけ。こわい((笑い))
68YK えっなに((笑い))言っちゃうと::／／ちょっとね＝
69ME ／／もうやだ::((笑い))
70MM ＝言いにくいよね。この場所((笑い))なんか／／ね。何かね＝
71YK ／／ちょっと言いにくいよね。わかる((笑い))
72ME わ／／かる::
73YK ／／言っちゃう言っちゃう。だから、言っちゃう、言っちゃうとね＝
74MM ＝うん＝
75YK 行きたいとか見てみたいとかだと::なんか、全員(.)その興味なかったら、どうでもいいって感じじゃん＝
76MM ＝まあ。まあ。それわかる＝
77ME ＝わかるわかる＝
78YK ＝だから::これがう::ん、みたいなの。
79MM じゃあ何だろう？ 理由が、浅い？ みたいなの。

IV 第3次の学習の様相

MM、YK、MEグループ

意味内容

72ME わ／／かる::

73YK ／／言っちゃ言うっちゃう。だから、言っちゃ、言っちゃとね＝

74MM ＝うん＝

75YK 行きたいとか見てみたいとかだと::なんか、全員(.)その興味なかったら、どうでもいいって感じじゃん＝

76MM ＝まあ。まあ。それわかる＝

77ME ＝わかるわかる＝

78YK ＝だから::これがう::ん、みたいなの。

79MM じゃあ何だろう？ 理由が、浅い？ みたいなの。

(中略)

106MM じゃあ、うちのさっきががんばったとか言ってたやつとか。

107YK えっと(.)なんて言ってた？

108MM なんて言った？ 思い出せ。

109ME MEは::自分もそういうようなことしか書いてないから (.)いいと思うよ。自分も行きたいみたいなの。

110MM でも客観的に見てだから::書かないと。

111YK うん。

112ME う::ん。

MMの主張文

清水寺はユネスコの世界文化遺産「古都京都の文化財」の一つに認定されています。それに誰もが知っている「清水の舞台」があります。他にも「三重の塔」、「奥の院」、「音羽の滝」他多数の諸堂があり、見所がたくさんあります。なので、**クラス全員で行っても誰一人あきることなく回れます。また、「本堂」からは、京都市街を見わたせるので、クラス全員でその絶景を見て感動をわかち合いたいです。**

それと、清水寺には九十キロ以上の大錫杖、十四キロの小錫杖、十二キロの高下駄があり、誰が持ち上げることができるから、**皆で持ってとかして盛りあがれると思います。**

そのようなことから、私はクラス別研修で清水寺に行くのが良いと思います。

IV 第3次の学習の様相

AT、WA、RYグループ

形式的特徴

- 137WA あとむ(.)あれ何? =
- 138AT =あれって?新薬／／師寺?
- 139WA ／／うん(.)そうそうそう(.)よく分からない。=
- 140AT =あ::、何が? =
- 141WA =これ。新薬師寺とか::なんか。
- 142AT ま::これ一体に七千人っていうのは(完全な)伝説みたいだけど、そ(.)さ(.)あの(.)ま::東大寺の鼻の穴じゃないけど必ずしも無病息災など、んん((咳払い))ん::なんだ、なるわけじゃないみたいなもんでさ。
- 143WA え?じゅう::じゅうにし? =
- 144AT =十二神将。
- 145WA 十二神将ってどんなやつ?
- 146AT ん::とね(.)なんかね(.)人::の体より::でかくて(.)でもま人の形をしている?例えばこう(.)剣とか::やっぱりこう守ってる(.)あの(.)この 薬師如来守ってる訳だから剣とか::なんかそういうものを持って／／る。
- 147WA ／／あ::それが一体ね要するに=
- 148AT =いった／／い
- 149WA ／／あ::あ::そゆことね。でっかい人形みたいなのが? =
- 150AT =そうそうそうでっかい人間=
- 151WA =あ::=
- 152AT =武器持ってるわけ。それ十二の方角(.)にいます。

IV 第3次の学習の様相

AT、WA、RYグループ

発話の機能

137WA あとむ(.)あれ何? =

138AT =あれって? 新薬／／師寺?

139WA ／／うん(.)そうそうそう(.)よく分からない。=

140AT =あ::、何が? =

141WA =これ。新薬師寺とか::なんか。

142AT ま::これ一体に七千人っていうのは(完全な)伝説みたいだけど、そ(.)さ(.)あの(.)ま::東大寺の鼻の穴じゃないけど必ずしも無病息災など、んん((咳払い))ん::なんだ、なるわけじゃないみたいなもんでさ。

143WA え? じゅう::じゅうにし? =

144AT =十二神将。

145WA 十二神将ってどんなやつ?

146AT ん::とね(.)なんかね(.)人::の体より::でかくて(.)でもま人の形をしている? 例えばこう(.)剣とか::やっぱりこう守ってる(.)あの(.)この 薬師如来守ってる訳だから剣とか::なんかそういうものを持って／／る。

147WA ／／あ::それが一体ね要するに=

148AT =いった／／い

149WA ／／あ::あ::そゆことね。でっかい人形みたいなのが? =

150AT =そうそうそうでっかい人間=

151WA =あ::=

152AT =武器持ってるわけ。それ十二の方角(.)にいます。

IV 第3次の学習の様相

AT、WA、RYグループ

意味内容

156WA これ行って何がしたいの？

157AT いや(.)さっきも言ったけど::((笑い))まず::だから、十二神将は十二 の 方角を守ってるわけ
けで信仰の守護神。＝

158WA ＝うんうん

159AT だから、干支ってやっぱり日本独特の文化みたいなものじゃん？＝

160WA ＝あ::。

161AT だからそういうのを::やっぱその、身近に感じるわけじゃ()やっぱそう、自分の守護神ぐら
い、名前ぐらい見て覚えておいた方が良くと思う。

162WA あ::、えと日本(.)だけの文化だったら／／東大寺も同じでしょ？

163AT ／／そう。

(中略)

181AT でもさ::うん((咳払い))、これを観てさ、実際何の関心が深まるか。

182WA やっぱさ:: (3)大仏とか教科書に出てんじゃん？＝

183RY ＝出てるね。

(中略)

222WA 歴史に関する関心？

223AT まあそうだね、まあ歴史に関するかいしん、あ:あ(.)あ(.)関心っていったからってそれこそ歴
史の教科書見るだけでも関心深まんない。

224WA やっぱ本物を見ないと／／いかんだろ。

225AT ／／お::。

226WA 本物を見て::もっと、深まる／／こともあるわけだから。

227AT ／／あ::、そだね。

WAの主張文

僕は、クラス別研修で東大寺に行くべきだと思います。東大寺では、多くの国宝が見られます。東大寺には、大仏だけじゃないのです。大仏を実際に見て大仏のすごさ、大きさを感ずるのも良いと思います。

僕は、東大寺で最も見てほしいところがあります。正倉院です。正倉院とは、昔の宝が納められていた所です。今も国宝として建物だけが残っています。みんな建物を見て日本の歴史に感心するのにも東大寺でしかできないことだと思います。クラス別研修で東大寺に行ってみんなで国宝のすごさを体感してきましょう。

主張文を書くにあたって、主張文の要素を具体的に指導しつつも、それを観点としてグループで交流活動を行うことにより、メタレベルでの相互作用が起こり、理由を明確にした主張文を書くことにつながったと結論することができる。

支援を振り返って

引用・参考文献

- 松本修:「学習としての読みの交流活動を成立させるために」,『豊かな単元学習を拓く
国語単元学習の創造 VII高等学校編』,日本国語教育学会, p.278, 東洋館出版社
, 2010
- 佐藤多佳子:「言語活動の充実に向けて～「活用」の多様性と学習デザイン」,『
TEADA』, No.7, 2010
- 松本修:「新学習指導要領・小学校国語科の解説」,『TEADA』, No.5, 学校図書,
2009
- 井上尚美:『言語論理教育入門－国語科における思考－』, p.87, 明治図書, 1989
- 佐藤多佳子:「思考力を育てる教材開発－根拠・理由づけを観点として－」,『臨床教科
教育学会誌』, 第11巻, 第2号, p.34, 臨床教科教育学会, 2011
- 難波博孝・三原市立木原小学校:『楽しく論理力が育つ国語科授業づくり』, 明治図書,
2006
- 松本修:『文学の読みと交流のナラトロジー』, 東洋館, 2006
- 松本修:「国語科教育研究における話し合いプロトコルの質的三層分析」,『臨床教科
教育学会誌』, 第3巻, 第1号, 臨床教科教育学会, 2004